

2023年サンキュー

CTP Newsletter

ニュージーランド出身香取市国際交流員
花田サミュエル卓也 (サム)

2022年に日本に引っ越してきましたが、2023年は、日本で1年間暮らした初めての年でした。2022年は、コロナ対策もありましたので、様々なことができませんでしたでしたが、2023年は香取市の魅力をしっかり感じられました。去年、書けなかったことが沢山ありましたので、今回のニュースレターでは2023年のハイライトをまとめて、話したいと思います。

2023年は人生で一番忙しい年でしたが、同時に最も楽しい、挑戦的な年でした。1月には姉妹都市のサイパン市との初めての試みで、香取中学校とサイパンのホップウッド中学校のオンライン交流を通訳者として手伝いました。翻訳や通訳、準備などいろいろ大変でしたが、生徒がお互いの文化に興味を持ち、実りのある仕事だと感じました。



2月から3月にかけて、佐原の町並みは雛人形と桜で飾られました。日本で迎える初めての春は、今まで見たことのない風景で、とても心に残っています。また、3-4月は会計年度の終わりと始まりでした。ニュージーランドでは人事異動はあまりないので、8ヶ月間一緒に働いた皆さんが異動になった時は辛かったです。新しく異動してきた皆さんと仲良くでき、今も楽しく仕事をしています。



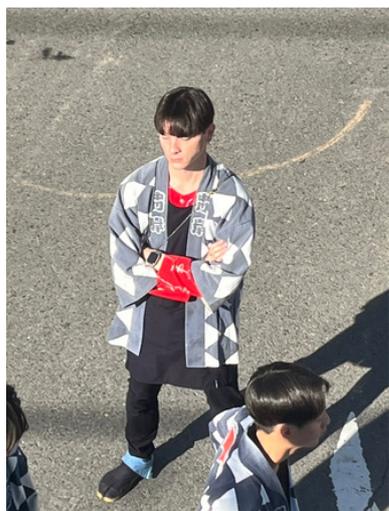
5・6・7月は鯉のぼり、あやめと祭りでした。イベントのオンシーズンになって、ほぼ毎週違うイベントがありました。本当に毎日を楽しみ過ごし、特に佐原の大祭は一生忘れられません。下仲町の皆さんが優しく受け入れてくれて、やっと香取市民になったと感じました。さらに、サイパンの人達が祭り期間中、佐原に来たので、また通訳をする機会がありました。



8月は日本に引っ越して1周年でした。やっと仕事も生活も慣れてきて、オフィス以外の仕事も増えました。小学生にニュージーランドの文化を教えたり、クラフトをしたり、様々なことをしました。また、NHKに出演し、外国人目線で佐原の魅力を紹介しました。今後も、同様の仕事ができるよう願っています。



10月は再び祭りの時期で、夏祭りと同じく秋祭りの仲川岸区にすぐ受け入れてもらいました。祭りは3日間参加し、今回はコロナじゃなかったので練習なども楽しむことができました。佐原の大祭は私の生活の一部となり、今年も参加するのが待ちきれないです。また、10月には通訳者として、5日間サイパンに行く機会もありました。日本に引っ越してから初めての国外で、こんなに長く通訳や出張するのも初めてでした。まだまだ足りないところも沢山ありましたが、とてもいい勉強になり、このようなチャンスを与えてくれたことに感謝しています。



11-12月も新しい経験でいっぱいだった時期でした。北総地域の様々な市町の取材や、山梨での研修で、歴史について学び、他の地域の魅力を知ることができました。今後、学んだことを外国人向けのPRに活かしたいと思います。また、11月にはKOMPASで英会話とニュージーランドの文化教室を開くことができました。教材作り、プレゼン、アクティビティーの準備がすごく大変ですが、子どもたちが楽しんでくれている顔を見ると癒されるし、やって良かったなと思いました。

2023年は素晴らしい1年でしたが、2024年ももっといろいろなことを学び、挑戦するのが楽しみです。2023年にこのニューズレターを読んでくれた人、仕事で関わった人に感謝します。そして、2024年により多くの人と出会い、より多くのことを経験したいと思いますので、遠慮なくご連絡ください。



FacebookのLittleEdoSawaraで香取市での生活や観光、ニュージーランドと日本の文化の違いなど多く発信しています。日本語でも文書を書いているので、見ていただけたら嬉しいです。これから他のことも挑戦してみたいと思っているので、英語・企画・お手伝いでも何かあれば、是非3階の商工観光課でお声掛けください!





相乗りタクシー
「ソンテウ」

タイのこと…聞いてみタイ？

タイ出身香取市国際交流員 ティ (ラタナウィモンチャイ チャヤンクン)



2024年
1月号

優しい言葉一つで冬中暖かい

サワッディー・ピー・マイ

สวัสดีปีใหม่ 明けましておめでとうございます！ お正月はどのように過ごしましたか？先月中旬から冬らしい寒さがやっとなって、楽しみにしていたいちごも売り出され始めました。寒い季節になると、ある言葉を思い出します。その言葉は10年前に初めて聞いた時、とても感動しました。

それは、「優しい言葉一つで冬中暖かい」です。なんて素敵な言葉で、聞くだけで心も体も温まってきたような気がします。今回は意味が似ているタイと日本のことわざや私が好きなことわざ・名言について話したいです。

まずは同じく「冬」が入っているタイのことわざから始めましょう。



ซื้อวัวหน้านา ซื้อผ้าหน้าหนาว (直訳) 田植え時期に牛を、冬の時期に布を買う

一番需要のある時に物を買うと値段が高いです。事前に買っておくか、需要が低くなった時に買ったほうが安く買えます。つまり、「TPOを考えずに物事をする、損してしまう」という意味です。タイは古くから農耕社会で、年間を通して米作りができます。田起こしや代かきする時に必要なのは水牛です。全国ほとんど同じ時期に作業を始めるので、水牛の需要も高く、値段が高くて必要なのは、それでも買うしかありません。日本のことわざだと、どう言う表現があるのでしょうか？



次に、意味と例えものがほとんど同じタイと日本のことわざ。タイのことわざを見て、日本のことわざを考えてみましょう。

ยิงปืนนัดเดียวได้นกสองตัว (直訳) 銃弾一つで二鳥

これはわかりやすいですね。銃弾と石が違うだけで、日本の「一石二鳥」と同じ意味です。



กบในกะลา (直訳) ココナツの殻の中の蛙

タイではココナツやヤシの実を半分に割って、果汁と果肉を取った後、殻はそのまま捨てたり、磨いて器にしたりします。その半分に割られた殻の中に隠す蛙をイメージしたことわざです。日本の「井の中の蛙大海を知らず」と同じ意味です。



หวานเป็นลม ขมเป็นยา (直訳) 甘いのは風、苦いのは薬

単語として「風」を使っていますが、「空気」の意味として、空気のように飲み込んで消えていくだけで、何も役に立たずという例えです。日本の「良薬は口に苦し」と同じ意味です。



タイのことわざは文の流れやリズムを考えて、前の句の終わりや後に来る句の始まりの語が同じ母音にして、韻を踏むことや、同じ動詞で前後の主語だけを変えて対照を際立たせることなどがよくあります。このことわざの読み方をカタカナで書くとこうなります。

ワーン・ペン・**ロム** **コム**・ペン・ヤー
甘い は 風 苦い は 葉

『風』と『苦い』は子音だけが違って、母音は同じです。そして、両句の名詞だけを変えて対照の意味を強調します。

最後は私が好きな日本のことわざです。

住めば都

2008年に私は語学のために初めて日本に来た時、学校の寮に住んでいました。日本に着いてすぐに蒲田にある寮に案内されました。まず一緒に来たタイ人に部屋が案内されました。広さ6畳ほどの部屋にベッド、タンス、机が置いてあります。広くてよさそうと思いました。次に私の部屋へ行くと、広さがなんと半分ほど小さい3.5畳の部屋でした。先に広い部屋を見たせいで、余計に小さく感じて、後一年半こんな狭い部屋に住まなければいけないのかと正直かなりショックでした。

ですが、実際に住んでみると、いつの間にかその狭さが返っていいことになりました。何かを取ろうにしても1~2歩で手が届きます。そして、その時が人生初の一人暮らしで、ホームシックもありました。何もない広い部屋より、物に囲まれた狭い部屋の方が寂しく感じないです。結局、半年過ぎたところ、隣の広い部屋が空いたので、寮の管理人さんがその部屋に移動させてくれました。当初の私だったら、すぐにでも広い部屋へ移動したいと思ったかもしれませんが、言われた時に、今の狭い部屋でも十分居心地よく過ごせると思いました。まさに住めば都です。

同じ意味のことわざはタイにありませんが、少しニュアンスが近いものは「คับที่อยู่ได้ คับใจอยู่ยาก」です。直訳で「狭くて不便な場所にはいられるが、自分の居場所がないと感じる場所にはいられない。」という意味です。日本の「住めば都」は最終的にいい方で終わるという感じですが、タイのこのことわざはよく悪い意味で使います。「仕事が大変でも体力があって頑張れるが、コネのある同僚だけが昇格されて、不平等を感じて会社を辞めたい」みたいな場面に使ったりします。

袖振り合うも多生の縁

と 一期一会

私的に意味が似ているのでまとめました。一番好きな言葉とっていいくらいです。「袖振り合うも多生の縁」は確かに日本語学校の教科書かなんかで知ったと思いますが、「一期一会」は10何年前たまたまユーチューブで見かけた中島みゆきさんの「一期一会」のPVで知りました。こういった前世や運命の話は元々好きなので、この二つの言葉の意味を聞いて、鳥肌立ちました。袖が長い着物を着る日本ならではのロマンティックなことわざです。

こういったことわざは、国や地域によって意味が同じでも例えるものが違う場合がよくあります。その国の特徴、文化、生活模様がわかります。タイでは、冬といえるほど寒い季節はないので、「優しい言葉一つで冬中暖かい」をタイの季節に合うバージョンを作ってみました！

「冷たい言葉一つで夏中寒い」

うーん、なんだか意味が違う気がしますね・・・



上)机から見たベッド 下)ベッドから見た机
部屋が狭すぎて、写真一枚に収められず、
何枚か撮ってからつなぎ合わせました



現在、SNSを通してタイ人に香取市のことを発信していますが、香取市のみなさんにタイのことを発信できていないと感じました。学校や市民の方々との異文化交流、タイのことでもなくとも在日外国人としての意見交換など、この月刊のようにお互いのことが少しでも知り合える機会ができればうれしいです！お手伝いできる企画などがあれば、ぜひ商工観光課までお声がけください。

4年ぶりに開催した 「香取小江戸マラソン」



年越しの茅の輪 香取神宮での大祓の動画です



タイ人向けに香取市の情報をフェイスブックページ「Wonder Sawara เก็บดวงรอบซาวาระ : Chiba Katori City」にて発信しています。可能な限り日本語の文章も付けるようにするので、ぜひのぞいてみてください～（フォローをしていたただけたらうれしいです！）



FBページ →
QRコード



または、フェイスブックアプリ
で「Wonder Sawara」を検索



タイ ラタナウィモンチャイ チャヤンクン

タイ、バンコク出身。CHULALONGKORN大学教育学部美術科卒。ウェブデザイナーとして1年間勤めた後、語学のため2008年に初来日。日本語学校を経て専門学校のグラフィックデザイン科に進学。卒業後は帰国し、新潟県湯沢町や群馬県みなかみ町のタイ語版パンフレット作製の依頼を受け、両町がタイの旅行博に出展する際にも通訳としてお手伝いをしたことが日本観光に携わるきっかけとなった。2018年再来日し、タイ語版編集者としてインバウンドウェブメディア会社に入社。2021年9月からは香取市の国際交流員として勤めている。

